

私たちからあなたへ

No.35

平成30年1月 発行

ふきのとう

社会福祉法人 相双記念会
障害者支援施設
ふきのとう苑

福島県相馬市富沢字松道19
TEL 0244-35-3090
FAX 0244-35-1171
MAIL: info@fukinotouen.jp
編集責任者 広報委員会

ワンダフル^も1年にするんだワン

2018

迎

春



『謹賀新年』

社会福祉法人相双記念会

理事長 宮田 弘幸

平成三十年の節目の新年を迎え、法人役員並びに各事業所職員と共に、福祉サービスの向上を肝に銘じ、精一杯取り組む所存です。

さて、昨年四月より『社会福祉法人の制度改革』が実施され、当法人においても定款の変更により、評議員の選任・解任委員会を組織して新たに七名の評議員を選任しました。その後選任された評議員により六名の理事が選任され、私が改めて理事長に指名されたところです。間もなく一年が経とうとしておりますが、新理事・新評議員・新監事の皆様と地域社会における社会福祉法人の役割として、「運営の透明性の確保」及び「地域における公益的な取り組み」を中心に、経営基盤の安定性を保って行けるよう精進してまいります。

開設十四年目を迎えた支援施設ふきのとう苑では、職員の安定化により利用者へのサービスの質が徐々に向上してきております。特に、短期



入所を希望される利用者が増え、設置七床のうち八割を超える稼働率は、地域への貢献度が高くなっております。また、一昨年度開設したグループホームも、設置十床のうち九床の入所者を迎え、利用者が日中活動と併せて有意義な生活を送っております。相談支援事業所「すずらん」では、新規の計画相談や県外の相談にも対応しており、圏域を越えたサービスに努めているところです。

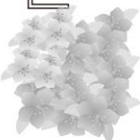
結びに、当法人並びに各事業所に対してご理解とご協力・ご支援・ご指導をいただいている関係諸機関の皆様と更なる連携を図りながら、一人ひとりの利用者と共に、幸福な生活が出来るよう祈念し、新年の挨拶といたします。

今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

『平成三十年』

障害者支援施設ふきのとう苑

施設長 木口 幸雄



謹んで、新年のお慶びを申し上げます。新年を迎えるに当たり、常日頃より当施設運営に対するご理解と

ご支援を賜り、関係各位の皆様には改めて心より御礼申し上げます。

さて、平成三十年四月一日施行となる『障害者総合支援法』の一部改正として、障害者の望む地域生活への支援やサービスの質の確保・向上に向けた環境整備等があげられます。

施設生活をしている利用者様を対象に、地域生活を希望される方に、自立生活援助のサービスをはじめ、新設の就労定着支援、六十五歳を超える利用者様の障害福祉サービスの継続利用等、より手厚いサービスが行われます。

その中で今年の目標としては、平成二十九年三月三十一日厚労省より出された「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」を基に、利用者様の自己決定の尊重を第一に進めたいと考えております。そのためにも、施設の基本理念に掲げ職員と唱和している、「利用者様の幸福のため、人としての尊厳を守り、楽しい生活をおくること」ができるよう支援します」を日々の目標とし職員一人一人が、利用者様のニーズを的確にとらえ、自己選択・自己決定ができるよう可能な限り努

めていきたいと思っております。

次に継続的な取組みとして、職員業務における「PDCA」サイクルの確立に努めます。特に、業務評価「C」から改善「A」までの過程を大切に進めていきます。

終わりに、今年度は平成二十六年に続き第二回目の「福祉サービス第三者評価」を受けることになっております。職員・利用者様・家族の皆様の評価を行い、今後のより良い福祉サービス事業につなげてまいります。本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

新年のごあいさつ

グループホームふきのとう

管理者 宮田 恵子



新春のお慶びを申し上げます。当ホームも、穏やかな元旦を迎えることができました。利用者様には、ご実家でご家族と新年を迎えられた方、グループホームでみんなと楽しく賑やかに迎えられた方、どちらもおせちやお餅を頂きながら和やかにお正月を過ごされたようです。今年一年が利用者様やご家族様に

とりまして、幸多き年になりますよ
う、心よりご祈念申し上げます。

さて、昨年の社会福祉人制度改革
に続いて、今年度は障がい福祉サー
ビス等報酬改定に伴う関係基準省令
の改正が四月一日から施行されま
す。この改正では、共同生活援助事
業（グループホーム）に新たな事業
「日中サービスマニエール共同生活援助
事業」が新設されます。この事業は、
常時介護を要する者に対して、常時
の支援体制を確保することにより、
利用者が地域において家庭的な環境
及び地域住民との交流の下で自立し
た日常生活または社会生活を営むこ
とが出来るよう、利用者様の身体及
び精神の状況並びにその置かれてい
る環境に応じて共同生活起居におい
て、相談、入浴、排せつ又は食事の
介護、その他の日常生活上の援助を
行うサービスです。

現在、相馬市が計画策定していま
す第五次相馬市障がい者計画等にも
入所施設から地域移行計画が掲げら
れているようです。数値目標があり
入所施設からグループホーム等の地
域へ生活拠点を移行する計画です。
障がいがあっても地域の中で、地域
の一員として暮らしたいと言う利用

者様の自立希望を叶えるためのサー
ビスで、より良いサービスが受けら
れるようになります。

当法人も、当初のグループホーム
新設計画の目的はこのためであった
と伺っており、グループホーム事業
を展開していくうえで、今後の検討
課題と思っております。

グループホームふきのとうは現
在、九名の女性が入居しています。
（定員十名）共同で生活する中には、
些細なトラブルもありますが、大き
な感動や楽しみもあります。二十代
から六十代と幅広い世代と障がい特
性の違う利用者様が日常生活の訓練
をしながら生活しています。一人ひ
とりの人生にゆっくり向き合いなが
ら将来のライフプランを形にしてあ
げたいと思います。

職員一同、利用者様が安心して生
活できるよう支援するとともに、利
用者様の心のよりどころとなる身元
引受け人様の相談等にも耳を傾けて
いきたいと考えています。基本方針
達成を目指して邁進いたしますの
で、本年もどうぞよろしくお願い致
します。



東西南北

家族会

平穩無事な1年が

過ぎせますように

会長 市澤 廣子

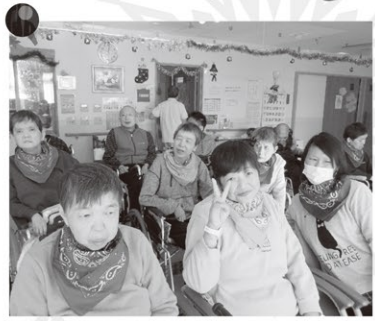
新しい年が明けた。25分程歩
き白幡天神社に元朝参りに行
く、8時発にしたところ、並ば
ずにお参りができるようになっ
た。皆が平穩無事に、離れて過
ごす家族も健やかに過ごせま
すようにと、気持を込めて頭を下
げる。

新年早々、出入りの高齢者グ
ループホームで家族会があつ
た。何人かの家族から、親が家
にいた時は歩けなくなるのが怖
いと一生懸命歩いてきたのに、
入所した途端ほとんど外出する
こともなく足腰が弱ってきた、
もつと散歩をさせてくれとの声
が上がる。管理者からは、現在
の職員数で精一杯やっているの
だが、と回答がなされる（首都
圏では高齢者施設が建設されて
も、介護職員の不足で定員通
りに入所できない話をよく聞

く。職員不足は深刻だ。）それで
は皆で入所者の生活の優先順位を
考えましょう、入所者の基本的な
生活を支援してもらおうのは最重要
だ、生活に彩を添えるイベントな
ども大変だろうがやはりお願いし
たい。では、職員が毎月毎月写真
を取り一言を添えた家族会のお
便りはどうだろうか、頂けばうれ
しいが、それにあてている時間を
散歩に振り替えてもらったらどう
だろうか、との提案は賛同を得ら
れなかった。確かに家族の中には、
施設に來られない人もいる、生活
の様子を知りたい、写真でも顔を
見られたら安心という方も多かる
う。それでも、ギリギリの職員数
の施設では、あくまでも利用者
ファーストで要不要をしっかりと大
胆に判断していただくことが必要
だと考える。

ふきのとう苑でも、昨年は、バス
ハイク（外出支援）をこれまで参加
できなかった人を中心にする、クリ
スマス会をインフルエンザの予防の
ため苑内行事する等、利用者一人一
人を考えた新機軸が打ちだされた。
地域に開きつつ、利用者が平穩無事
安心して暮らせるふきのとう苑であ
るよう、本年もよろしくお願いい
たします。





中身は何かな?

MERRY CHRISTMAS



クリスマス イェ〜イ!



楽しんでますか〜。



今日は、ごちそうだぞ



うまい!



目の前で握っていただきました



うまい!



おいしい!



新職員の挨拶



介護部 高橋のり子

昨年の六月よりお世話になっております。以前は南相馬市のグループホームに勤めていました。利用者様の笑顔と先輩職員の方々のご指導を頂きながら元気に明るく勤めて行きたいと思っております。

至らない所がありますが、これからも宜しくお願い致します。



介護部 星 恵

昨年十二月に入職し、約七年ぶりにふきのとう苑に戻ってきました。私を覚えてくださっていた利用者様も多く、とても嬉しかったです。

まだ、日が浅く、不慣れな点もあり利用者様や先輩職員の方々にご迷惑をおかけいたしますが、1日でも早く色々な事を吸収し、皆様の力になれるよう頑張っていきたいと思っております。ご指導の程宜しくお願いいたします。



介護部 鈴木 睦子

昨年十月に入職しました鈴木睦子(ちかこ)です。

ふきのとう苑に入って、個性豊かな利用者様に圧倒されました。老人介護と異なり、とまどう事も多くありますが、先輩職員の方々のご指導を頂いてなんとか慣れてきたところです。

まずは、業務をしつかり覚えて一人前になることが目標です。合わせて、利用者様と毎日笑顔で過ごせるよう支援していきたいと思っております。

まだまだ至らない点が多くありますが、よろしくお願い致します。



医務部 岡田あき子

看護師の岡田あき子です。

平成二十八年四月で都合にて、退職しましたが、昨年十一月再度声をかけていただき、「ふきのとう苑」が懐かしく利用者様と、楽しく過ごしたいと思い、短時間勤務ではありますが、お世話になります。

至らないことがあり迷惑をかけることもあるかと思いますが、宜しくお願いいたします。



サービス管理責任者から

鈴木雅之

こんにちは、サービス管理責任者の鈴木です。通称サビ管鈴木です。

普段はサビ管室で利用者様の個別支援計画書の作成や、相談支援事業所など外部関係機関との連絡、ショートステイ希望の方の調整なども行っています。利用者様との関わりとしてはアセスメントでお話を聞いたり、苦情受付窓口としての相談などがあります。それ以外でも出来るだけみんなとコミュニケーションを図る機会を設けるようにしています。私自身いつもみんなの笑顔に癒されています。

最近では利用者様から「行事や活動が楽しいよ」「食事が美味しいよ」などの良い意見が多く聞かれうれしく感じています。しかし、反対に「もっと外出に行きたいな」「行事の外出で違う場所に行きたいな」などの要望の声も聞かれています。利用者様がもっと外部との交流機会や外出する機会を増やせるようにするには、地域の福祉サービスとの連携を図り、介護タクシーなどを利用することで楽しい施設生活を送れるように努めていきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。



こんにちは 給食室です



みなさんこんにちは。ふきのとう苑では一月七日にもちつき大会を行いました。

もちの提供は、利用者様の身体状況等により年々難しくなってきましたが、今回もちはもちでも、もち特有の「のび」や「弾力」のない「おもちムース」を使用し、おしるこを提供しました。


利用者様より「おいしかった」との嬉しい声を頂きました。



今後季節を感じられる食事を提供していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願致します。

じゃんや日記 No.6


「謹賀新年」2018年
 明けまして
 おめでと
 うございます。




今年も年末年始は自宅で過ごさせて
 いただきました。自宅では毎月「もち」と
 「ぼろ」をいただきました。



そろそろあきたな、と思いついたとこ
 に妹家族がやってきました。そして
 その手にはイロヒ「まし」が。



そこまでは良かったのですが、妹
 の後には子供たちが！



こんにちは、
通所です

あけましておめでとうございます

今年もよろしくお願ひ致します



クリスマス会



オセロ
 名人対局

なかなか勝負が
 つきません



自主リハビリ

みんなで手話歌




グループホームふきのとう

グループホームの皆さん、無事に新年を迎え、初詣に行ってきました。皆さん、手を合わせて各々の新年の抱負をお願いしていましたが、中には決意の表れか、言葉に出してお願いしている人もいました。「お腹がスリムになりますように…」私は聞かなかったことにしました。(笑)

職員：佐藤(大)

利用者さん紹介

職員佐藤様さんと広瀬幸子様との対談を紹介します。

Q こんにちは。最近寒いですか？

A 大丈夫です。


Q 最近力を入れて取り組んでいることを教えてください。

A 毎日貼り絵を頑張っています。

Q 毎回、素敵な作品が出て来ているので、今回も楽しみにしていますね。暖かくなったらやりたい事ありますか？

A 外出に行きたいなあ。昨年フローラで食事した時はすごく美味しかったですよ。

Q また、今度行けるといいですね。今日はありがとうございました。





お誕生日おめでとうございます



あとがき
 新年あけましておめでとうございます。
 まだまだ、寒い日が続きますので、
 体調管理には気を付けてお過ごし
 ください。
 (ハル)



ボランティアありがとうございました。

川柳
 七福神
 現代じゃメタボで
 要注意
 重ね着は
 着替え面倒 春よ来い
 (船山孝二)